

## 臨時休校中課題②

### 【内容】

#### ○保健分野

「2、交通事故の発生要因」

「3、交通事故の危険予測と回避」

(教科書 P66～69)

教科書をよく読み、答えましょう。

※【参考資料】は、熱中症の予防のために役立ててください。

#### ○体育分野

「体づくり運動」

(実技本 P5～28)

実技本をよく読み、答えましょう。

2年 ( )組 ( )番 名前( )

保健編3章 「傷害の防止」

2、交通事故の発生要因・3、交通事故の危険予測と回避（教科書 P66～69）

【目標】…交通事故の発生要因や危険予測・回避について学び、  
交通事故の発生を抑えることができるようになる。

(1)車両の特性についてまとめました。空欄にあてはまる語句を解答欄に答えなさい。

自転車の特性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二輪のため( ① )を崩しやすい</li> <li>・体が( ② )しているので、事故が起こると怪我をしやすい</li> </ul>
停止距離	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空走距離…危険察知後ブレーキを踏み、ブレーキが利き始めるまでに車が進む距離</li> <li>・( ③ )距離…ブレーキが利き始めてから車が止まるまでに進む距離</li> </ul>
自動車の死角	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車には運転席から見えない部分(死角)がある。</li> <li>・バックするときに真後ろにいた人に接触したり、曲がるときに自転車やバイクを巻き込んだ事故が起こりやすい。</li> <li>・右側に運転席のある大型トラックの場合は、真後ろや( ④ )後方の死角が大きい。</li> </ul>
自動車の内輪差	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後輪は前輪よりも( ⑤ )側を通る。</li> <li>・( ⑥ )折をするときに後輪で歩行者や自転車を巻き込む事故が起きやすい。</li> </ul>

①	②	③
④	⑤	⑥

(2)下の語群にある、交通事故の発生要因を分類し、記号で答えなさい。

人的要因	環境要因	車両要因
( )	( )	( )

【語群】

- |                |                          |                  |
|----------------|--------------------------|------------------|
| ア、信号無視         | イ、でこぼこした道路               | ウ、タイヤのパンク        |
| エ、体調不良         | オ、台風が近づいている              | カ、自転車の反射板がついていない |
| キ、街灯がなく暗い      | ク、二人乗り                   | ケ、バランスを崩しやすい     |
| コ、自転車のライトがつかない | サ、イヤホンで音楽を聴きながら自転車に乗っていた |                  |

(3)今までで自分が交通事故にあいそうになった体験を書いてみましょう。また、その体験について「①どの要因が関係しているか」、「②回避するための方法」をそれぞれ答えなさい。

自分がした交通事故になりそうな体験
①関係している要因 ※関係するものをすべて記入
②回避するための方法

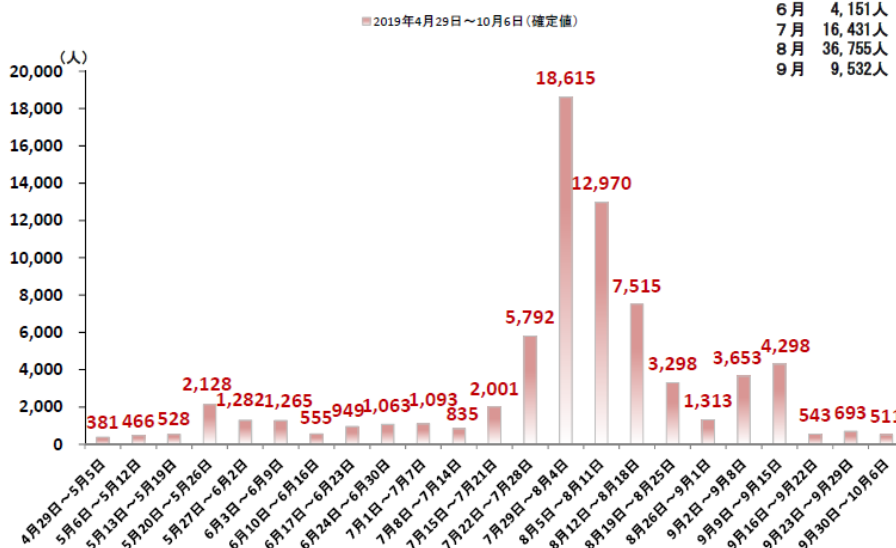
※中学生の自転車事故では、不適切な行動(人的要因)によるものが多くある。

(4)みなさんの中でも多くの方が自転車に乗ることがあると思います。教科書 P69 の読み物「自転車も被害者になる」を読み、あなたが考えたことを書きなさい。


【参考資料】

資料1

熱中症による救急搬送状況(2019年)  
「調査開始から各週の比較」



熱中症は、「資料1」のように5月などの早い時期から起こる可能性があります。また、室内でも起こります。室内にすることが多く、暑さに慣れていない今のような時期は、要注意です。

- ・こまめに水分補給をする。
- ・冷房や扇風機を有効に使ったり、風通しをよくしたりするなどして、適切な室温管理を行う。  
※目安は 28℃以下
- ・規則正しい生活などを心がけ熱中症を予防しましょう。

資料出典：消防庁ホームページ (<http://www.fdma.go.jp/>)

体づくり運動

【目標】…体づくり運動について学習し、それぞれの特徴を理解する。

(1)空欄にあてはまる語句を解答欄に書きなさい。

○体づくりの系統図

体ほぐしの運動	・体や心の( ① )に気づく
	・体の( ② )を整える
	・仲間との交流を楽しむ
体力を高める運動	(1)柔軟性を高める運動
	(2)( ③ )な動きを高める運動
	(3)力強い動きを高める運動
	(4)動きを( ④ )する能力を高める運動

①	②	③	④
---	---	---	---

(2)次の文の空欄にあてはまる語句を語群の中から選び記号で答えなさい。

①動きを発展させるためのポイント(実技本PII)

- ・前後だけではなく、左右や上下、ジグザグなど動くなど( ① )を変えたり、動きの大きさを変える。
- ・運動を継続して行う( ② )や動きの速さなどを変える。
- ・その他、強弱をつけたり、ボールや縄跳びなどの手具・用具の使用、人数の条件などを変える。

②関節と筋肉の働きのポイント(実技本PI6)

- ・関節には( ③ )範囲がある。そのため、強すぎる負荷をかけたり、無理に引っ張ったりすると怪我につながりやすい。
- ・( ④ )は体が温まっている方が伸展しやすい。ゆっくりと体を温めてから運動するとよい。

【語群】ア、時間 イ、可動 ウ、方向 エ、筋肉

①	②	③	④
---	---	---	---

(3)現在の自分の体の状況について振り返ってみましょう。(筋力や柔軟性、持続性などについて)
